

JX-S900

AVセクター

取扱説明書

リチャードソン・インターナショナル

使いかた(基本編)

故障かな?



- ご使用前にこの“取扱説明書”をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機の製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかについてお確かめください。

このたびはビクターAVセレクターJX-S900を お買い上げいただき、ありがとうございます。

この JX-S900 は、簡単な操作で数多くの便利な機能を、お楽しみいただける AV セレクターです。

JX-S900 の機能をフルに生かすため、この“取扱説明書”をよくお読みいただき、末永くご愛用ください。

特 長

- 広帯域・高画質設計の S 端子付 AV セレクター
入出力 7 系統（前面入出力端子 1 系統）、モニター出力 2 系統。
すべての入出力端子に S 端子を装備。
- ワイヤレスリモコン付
すべての操作がワイヤレスリモコンで可能。
- 多彩なダビング機能
7 系統フル相互ダビング……ビデオ機器 7 台の相互ダビング。
2 系統独立並行ダビング……2 種類のソースを同時ダビング。
7 系統マルチダビング ……7 台のビデオ機器へ同時ダビング（出力モードスイッチ ON 時）。
ダビングロック機能 ……ダビングモードを固定。
- モニター出力に高性能 YC 分離回路を内蔵（モニター出力 1 のみ）
通常のビデオ信号（コンポジット信号）も、S 端子入力でもモニター可能。
- 任意モニターセレクト機能（モニター出力 1 のみ）
ソース切換ボタンに関係なく、任意の入力及び出力モニターが可能。
- ビデオ/オーディオプロセッサ端子付（S 端子付）
ビデオエンサンスー、グラフィックイコライザーなどが接続可能。
- 外部入力（オーディオ）端子付
ビデオ機器の音声を外部入力の BGM などに入れ替え可能。
- パワーイニシャルスイッチ付
タイマーに接続して使用するときに便利。

■テレビ放送やレコード・録画（録音）物などから録画（録音）したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

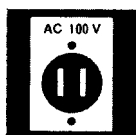
目 次

- 各部の名称とはたらき
 - (前面)..... 1～2
 - (背面)..... 3
 - S 入出力端子について 3
- ワイヤレスリモコン〈付属〉について..... 4
- 接続のしかた
 - システム接続例..... 5～6
 - モニター出力端子について..... 7～8
 - アンテナ入力のみ装備のテレビとの接続..... 8
 - 入出力端子について..... 9～10
 - プロセッサ入出力端子について..... 11
 - 外部入力端子について..... 12
 - 前面入出力端子 4 について..... 12
 - AC コンセントについて 12
- 使いかた (基本編)
 - ビデオの見かた..... 13
 - モニター出力について..... 14
 - ダビングのしかた..... 15
 - 並行ダビングのしかた..... 16
- 使いかた (応用編)
 - プロセッサ機器を使ったダビングのしかた... 17～18
 - 外部入力を使ったダビングのしかた..... 18
- 故障かな?..... 19
- ブロックダイヤグラム..... 20
- 別売接続コードについて..... 20
- 仕様/保証とアフターサービス..... 裏表紙



ご 使 用 の 前 に

安全上のご注意



この AV セレクターは日本国内用に作られていますので、電源電圧の異なる外国では使用できません。



また、電源は家庭用 AC 100 V でお使いください。



煙が出ている、変な臭いがする……などの故障状態のまま使用すると危険です。急いで電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。



内部にふれると危険ですのでご自分でセットをあけることは絶対になさらないでください。

ご使用上のご注意

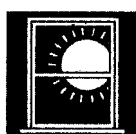


本機は電源スイッチを切っても各スイッチ動作を記憶しておくために約 2 W の電力を消費しています。旅行などで長時間ご使用にならないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。このときコードを引っばらずプラグを持って抜いてください。電源コードを傷つけると火災・ろう電・感電の原因となります。



セットの上に花瓶、コップなどの水の入った容器を置かないでください。

取扱い上のご注意



直射日光が当たるところやストーブの近くなど暑いところに置かないでください。



汚れがひどい場合には、中性洗剤などで汚れを落とし、乾いた柔らかい布でむらなくキャビネット全体をふきとってください。シンナーやベンジンなどは絶対に使わないでください。

各部の名称とはたらき(前面)

—○内の数字のページに説明があります。—

電源 (POWER) ボタンとインジケータ

電源を入れる時押します。(インジケータ点灯)
電源を切る時はもう一度押します。
(インジケータ消灯)
本機は電源スイッチを OFF にしてもスイッチ動作を記憶しておくため、約 2 W の電力を消費しています。

ソース切換 (SOURCE SELECT) ボタンとインジケータ ⑮⑯

入力端子を選択するときに押します。
選ばれた入力端子のインジケータが点灯します。(入力端子 5~7 は、並行ダビングの点は緑色に点灯、通常は黄色に点灯します。)

STANDBY/REMOTE インジケータ

電源 OFF (スタンバイ) の時に点灯します。
電源 ON の時に消灯します。
ワイヤレスリモコンの信号を受信している時には点滅します。

REMOTE SENSOR ④

付属のワイヤレスリモコンの信号を受信します。

PROCESSOR ボタンとインジケータ (AUDIO) ⑰⑱

オーディオプロセッサを使用する時押します。(インジケータ点灯)
使用をやめる時はもう一度押します。
(インジケータ消灯)

PROCESSOR ボタンとインジケータ (VIDEO) ⑰⑱

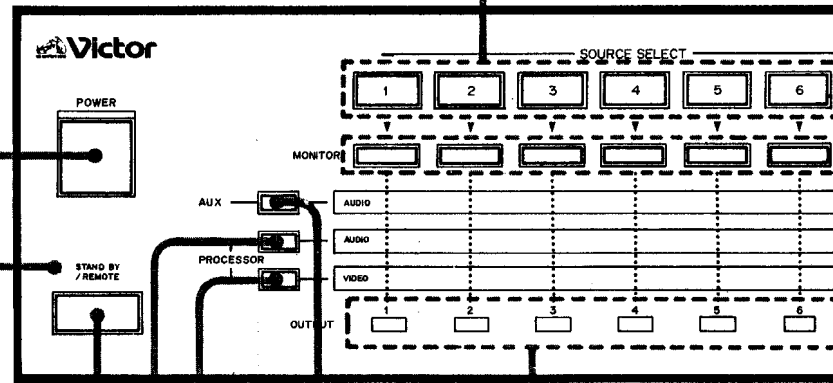
ビデオプロセッサを使用する時押します。(インジケータ点灯)
使用をやめる時はもう一度押します。
(インジケータ消灯)

外部入力 (AUX) ボタンとインジケータ ⑲

外部入力端子に接続したオーディオ機器を使用する時押します。
(インジケータ点灯)
使用をやめる時はもう一度押します。
(インジケータ消灯)

出力 (OUTPUT) インジケータ

出力されている端子のインジケータが点灯します。(出力インジケータの 5~7 は並行ダビングの時は緑色に点灯、通常は黄色に点灯します。)



MONITOR ボタンとインジケータ
(モニター出力1のみ有効) ⑬⑭

モニターしたい入力信号を選びます。
選ばれた入力信号のインジケータが点灯し
ます。

並行ダビング (PARALLEL DUBBING) ボタンとインジケータ ⑯

並行ダビングをする時押します。(インジケータ点灯)
並行ダビングをやめる時はもう一度押
します。(インジケータ消灯)

出力モニター (OUTPUT MONITOR) ボタンとインジケータ ⑭⑮⑯

出力信号をモニターする時押します。
(インジケータ点灯)

入出力 (INPUT/OUTPUT) 端子4 ⑫

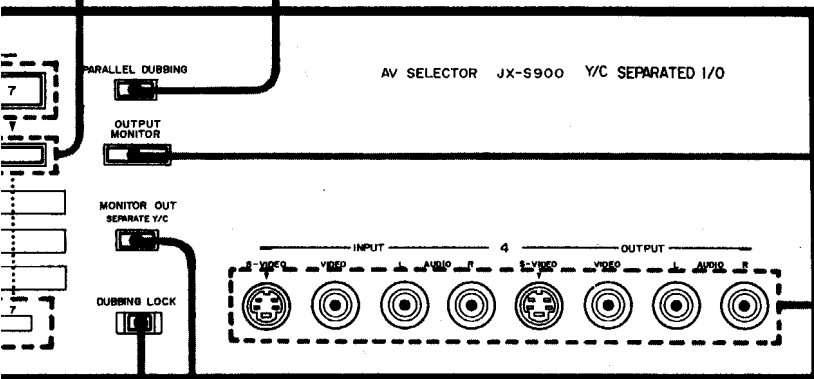
INPUT : ビデオ・オーディオ機器
の出力端子に接続します。
OUTPUT : ビデオ・オーディオ機器
の入力端子に接続します。

DUBBING LOCK ボタンとインジケータ ⑮

ダビングモードを固定する時押
します。(インジケータ点灯)
使用をやめる時もう一度押します。
(インジケータ消灯)

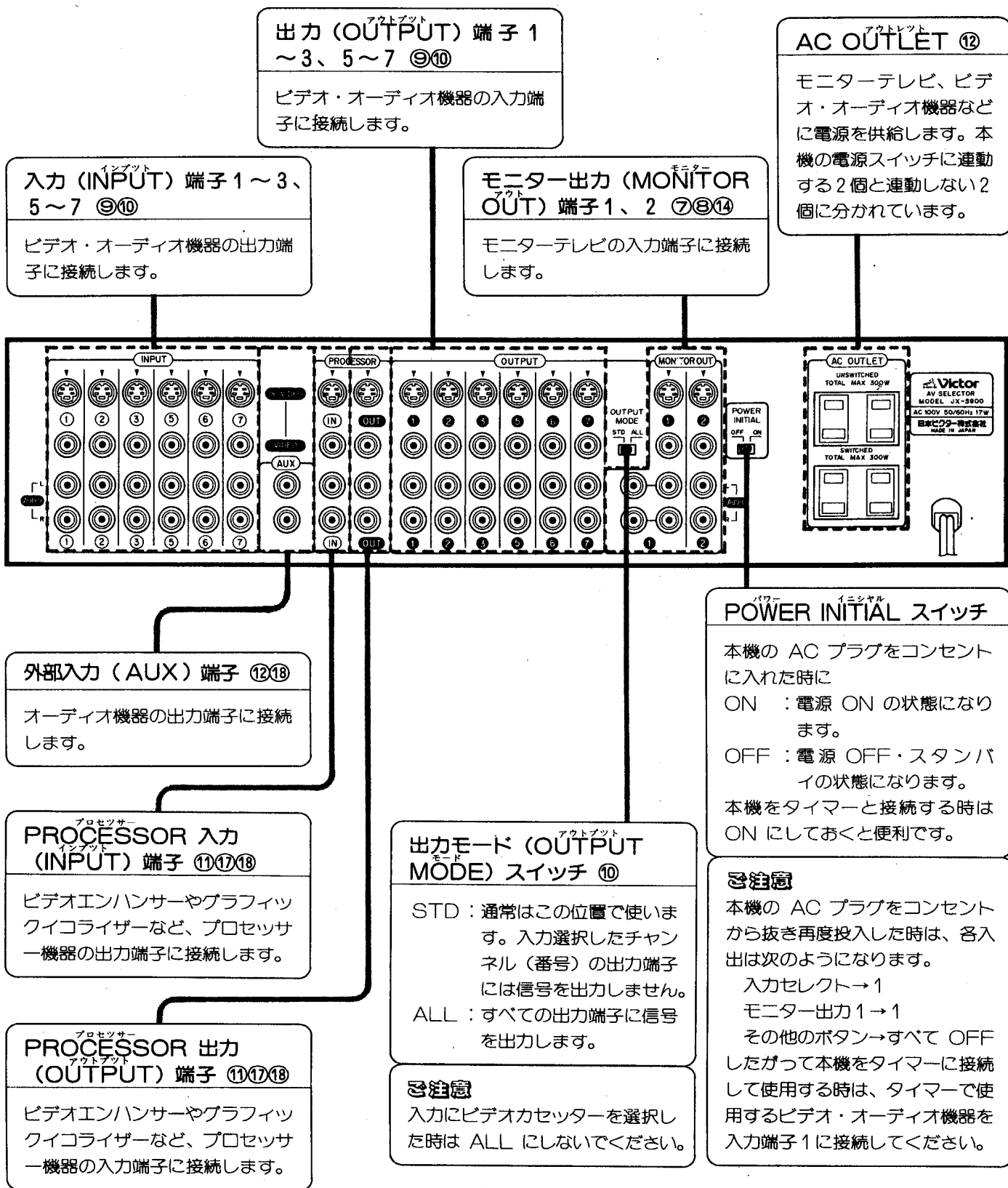
モニター出力セパレート Y/C (MONITOR OUT SEPARATE Y/C) ボタンとインジケータ (モニター出力1のみ有効) ⑭

モニター出力の Y/C 分離回路を使用
する時押します。
(インジケータ点灯)
使用をやめる時はもう一度押します。
(インジケータ消灯)



各部の名称とはたらき(背面)

—○内の数字のページに説明があります。—



**出力 (OUTPUT) 端子 1
~3、5~7 ⑨⑩**
ビデオ・オーディオ機器の入力端子に接続します。

AC OUTLET ⑫
モニターテレビ、ビデオ・オーディオ機器などに電源を供給します。本機の電源スイッチに連動する2個と連動しない2個に分かれています。

**入力 (INPUT) 端子 1~3、
5~7 ⑨⑩**
ビデオ・オーディオ機器の出力端子に接続します。

**モニター出力 (MONITOR
OUT) 端子 1、2 ⑦⑧⑭**
モニターテレビの入力端子に接続します。

外部入力 (AUX) 端子 ⑫⑬
オーディオ機器の出力端子に接続します。

POWER INITIAL スイッチ
本機の AC プラグをコンセントに入れた時に
ON : 電源 ON の状態になります。
OFF : 電源 OFF・スタンバイの状態になります。
本機をタイマーと接続する時は ON にしておくと便利です。

**PROCESSOR 入力
(INPUT) 端子 ⑪⑰⑱**
ビデオエンハンサーやグラフィックライザーなど、プロセッサ機器の出力端子に接続します。

**出力モード (OUTPUT
MODE) スイッチ ⑩**
STD : 通常はこの位置で使います。入力選択したチャンネル(番号)の出力端子には信号を出力しません。
ALL : すべての出力端子に信号を出力します。

ご注意
本機の AC プラグをコンセントから抜き再度投入した時は、各入出は次のようになります。
入力セレクト→1
モニター出力1→1
その他のボタン→すべて OFF
したがって本機をタイマーに接続して使用する時は、タイマーで使用するビデオ・オーディオ機器を入力端子1に接続してください。

**PROCESSOR 出力
(OUTPUT) 端子 ⑪⑰⑱**
ビデオエンハンサーやグラフィックライザーなど、プロセッサ機器の入力端子に接続します。

ご注意
入力にビデオカセットを選択した時は ALL にしないでください。

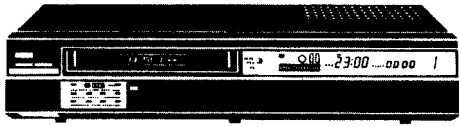
S入出力端子について

- S入出力端子は映像信号の Y/C (輝度信号/色信号) のセパレート信号の端子です。
- S端子付きのビデオカセットの録画再生時に接続し、映像信号の口スをおさえ、より美しい録画再生ができます。
- 一般のビデオカセットは従来のビデオ入出力端子に接続します。これは Y/C (輝度信号/色信号) の合成信号 (コンポジット信号という) の端子です。

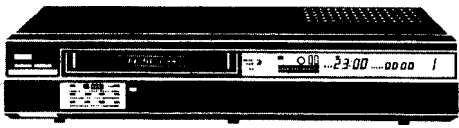
接続のしかた

接続は一例を示したものです。接続する機器の説明書もよくお読みください。

システム接続例 ●各機器の接続については7ページ以降もお読みください。



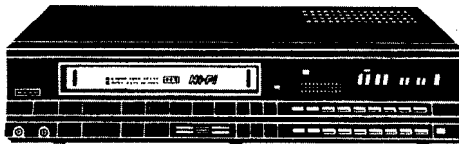
S 端子付ビデオカセット



S 端子付ビデオカセット



ステレオ ハイファイ ビデオカセット



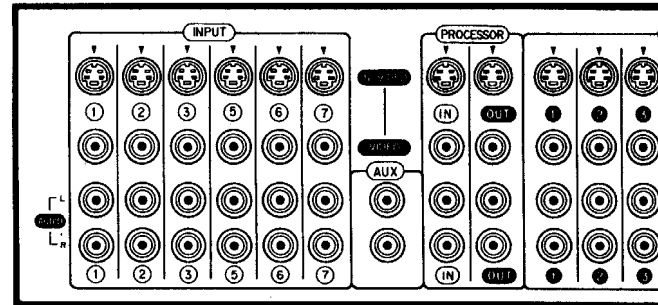
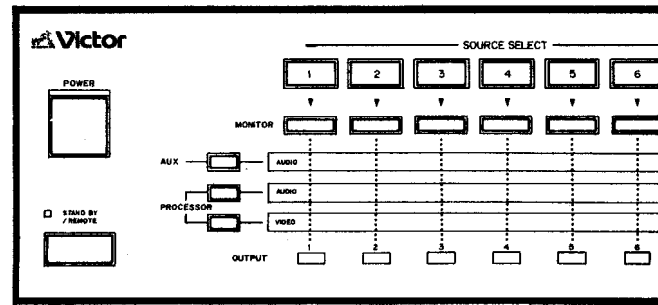
ステレオ ハイファイ ビデオカセット



モノラル ビデオカセット



ビデオ ディスク プレーヤー



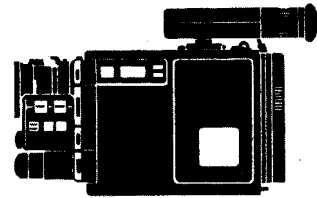
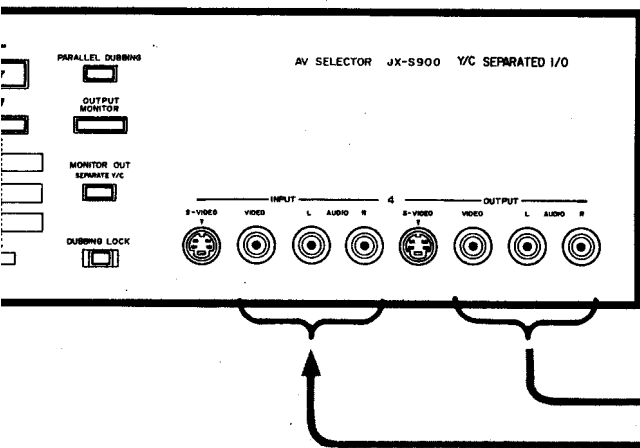
入出力端子
について。
9～10ページ

外部入力端子について。
12ページ

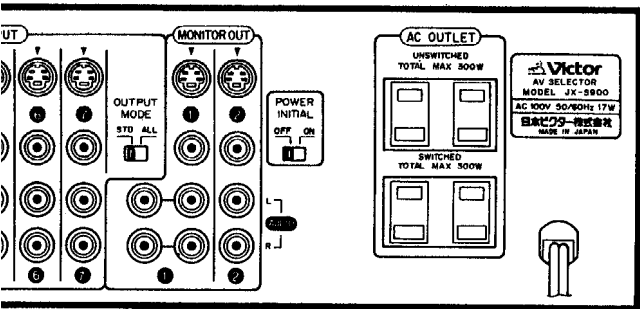


コンパクト ディスク プレーヤー

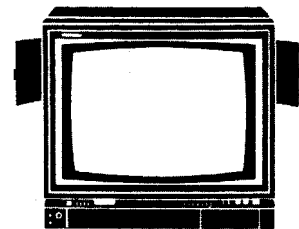
●接続するときは各機器の電源を切ってください。



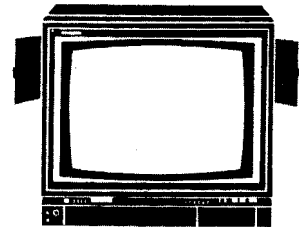
ビテオ ムービー
前面入出力端子 4
について。
12ページ



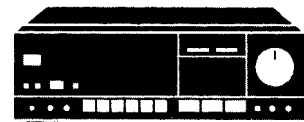
AC アウトレットについて。12ページ



システム カラーテレビ

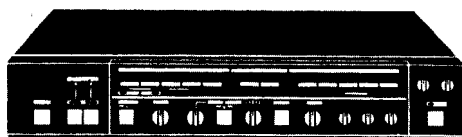


システム カラーテレビ



オーディオアンプ等

プロセッサー入出力端子
について。
11ページ



ビテオ イフェクター

モニター出力端子
について。
7～8ページ
モニター出力について。
14ページ

接続のしかた

接続は一例を示したものです。接続する機器の説明書もよくお読みください。

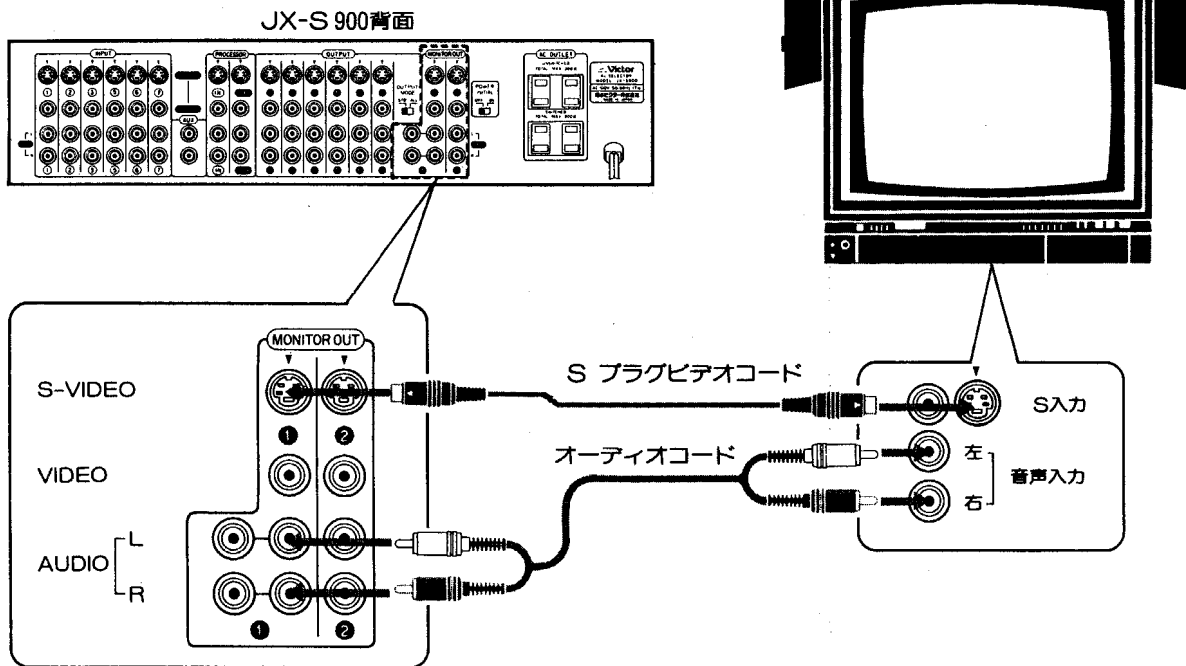
モニター出力端子について ●S入力端子、ビデオ入力端子のあるテレビのつなぎかた

本機はビデオ、左右オーディオ信号を一組とするモニター出力端子を2系統装備しています。テレビやモニターとの接続のしかたは、モニター出力1、2とも同じですが、モニター出力1に接続しますと各入力モニターと外部入力機器やプロセッサ機器を通過した出力モニターが可能です。(モニター出力2は出力モニターのみ可能⇒14ページ「モニター出力について」)

ご使用になるテレビが S 入力端子の場合と、ビデオ入力端子のみの場合と接続が異なります。

S入力端子付のテレビとの接続

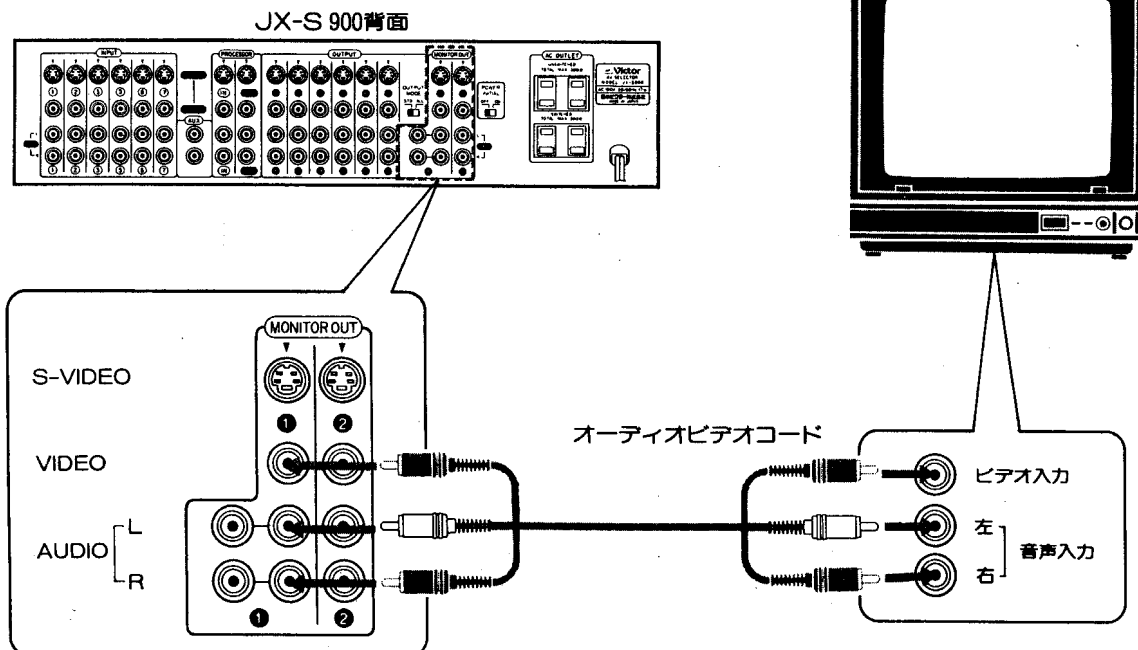
システムカラーテレビ (S入力端子付)



S入力端子のないテレビとの接続

●オーディオ入力がステレオのテレビとの接続

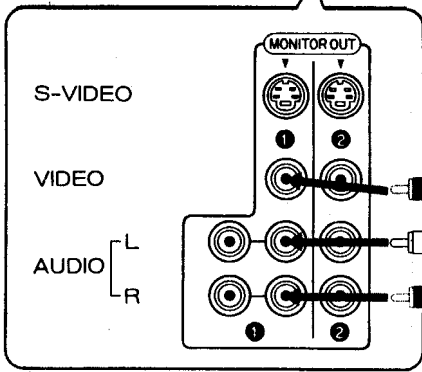
システムカラーテレビ



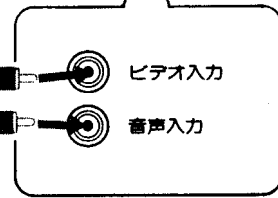
●接続するときは各機器の電源を切ってください。

●オーディオ入力がモノラルのテレビとの接続

JX-S900の端子



システムカラーテレビの端子

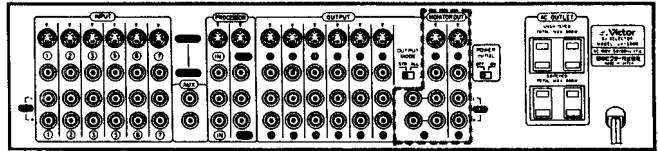


オーディオ・ビデオコード

アンテナ入力のみ装備のテレビとの接続 ●ビデオ入力端子のないテレビのつなぎかた

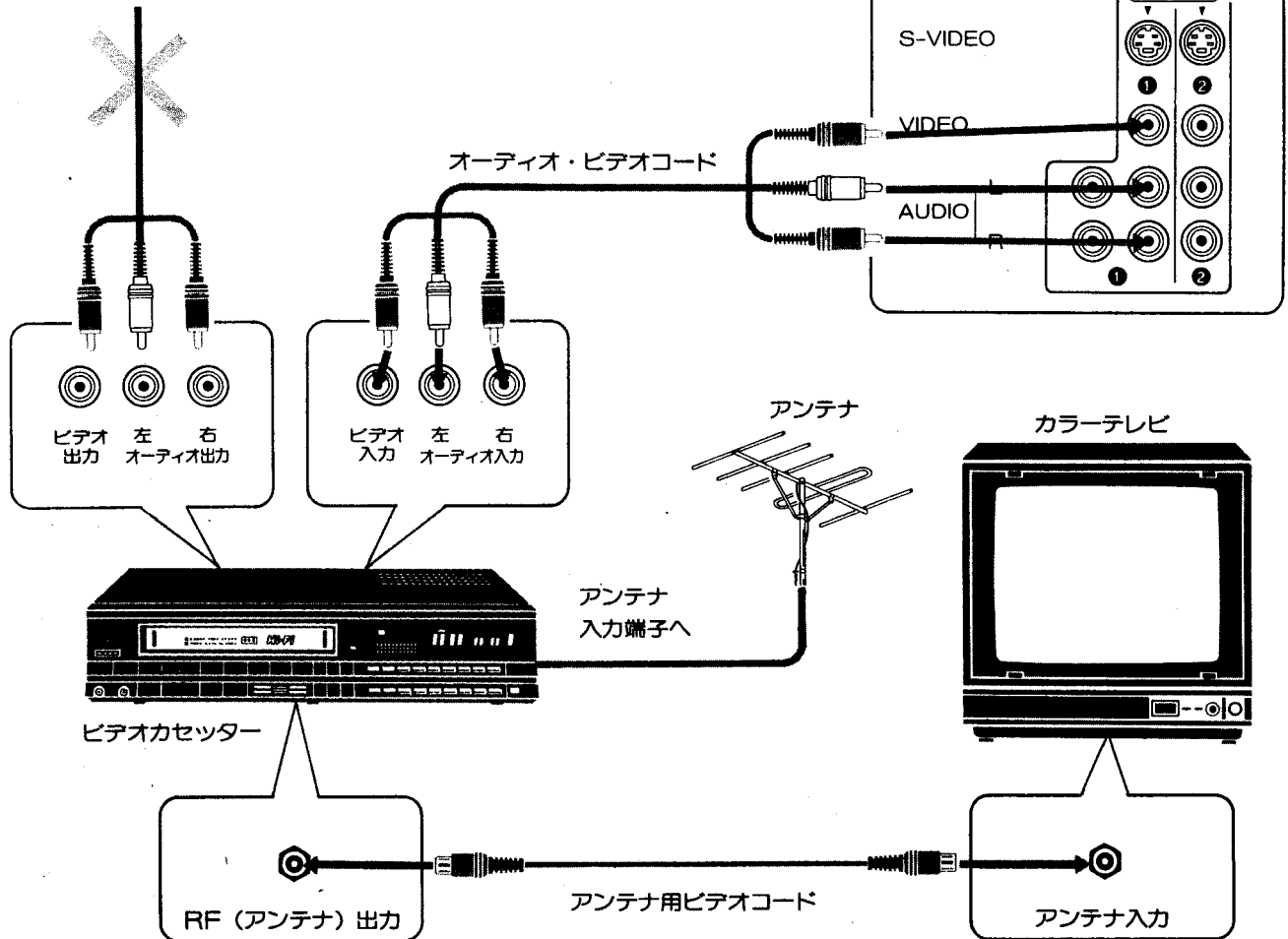
本機のモニター出力からビデオカセットを通してテレビに接続します。

ビデオカセットの取扱説明書もよくお読みください。



JX-S 900背面

本機の入力端子には接続しないでください。



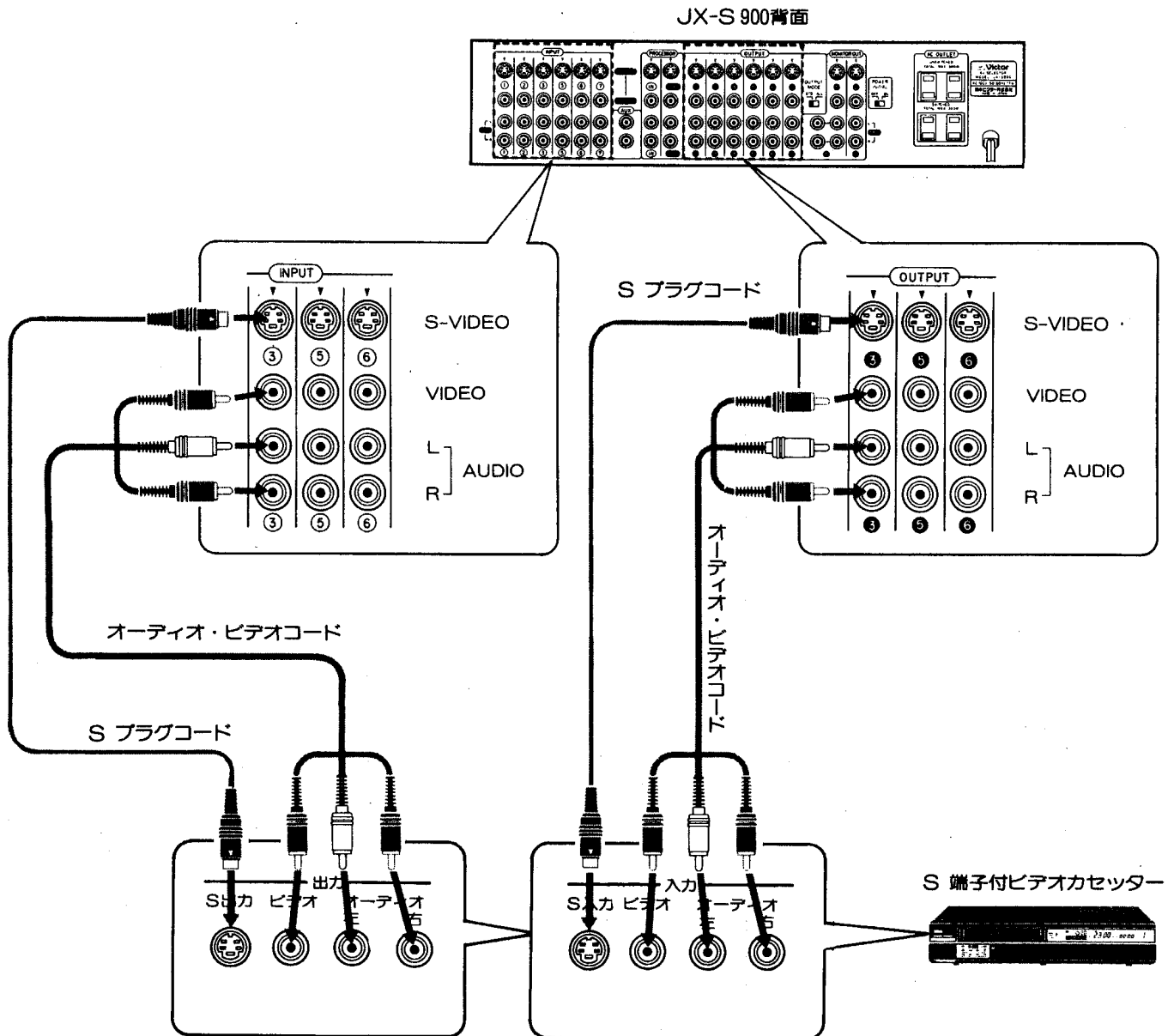
接続のしかた

接続は一例を示したものです。接続する機器の説明書もよくお読みください。

入出力端子について ●ビデオカセット、ビデオディスクプレーヤーなどビデオ機器

本機はビデオ、左右オーディオ信号を一組とする端子を入出力それぞれ7系統装備しています。7系統のうち1系統（入出力4）については前面に端子があります。

S端子付ビデオカセットとの接続



注意

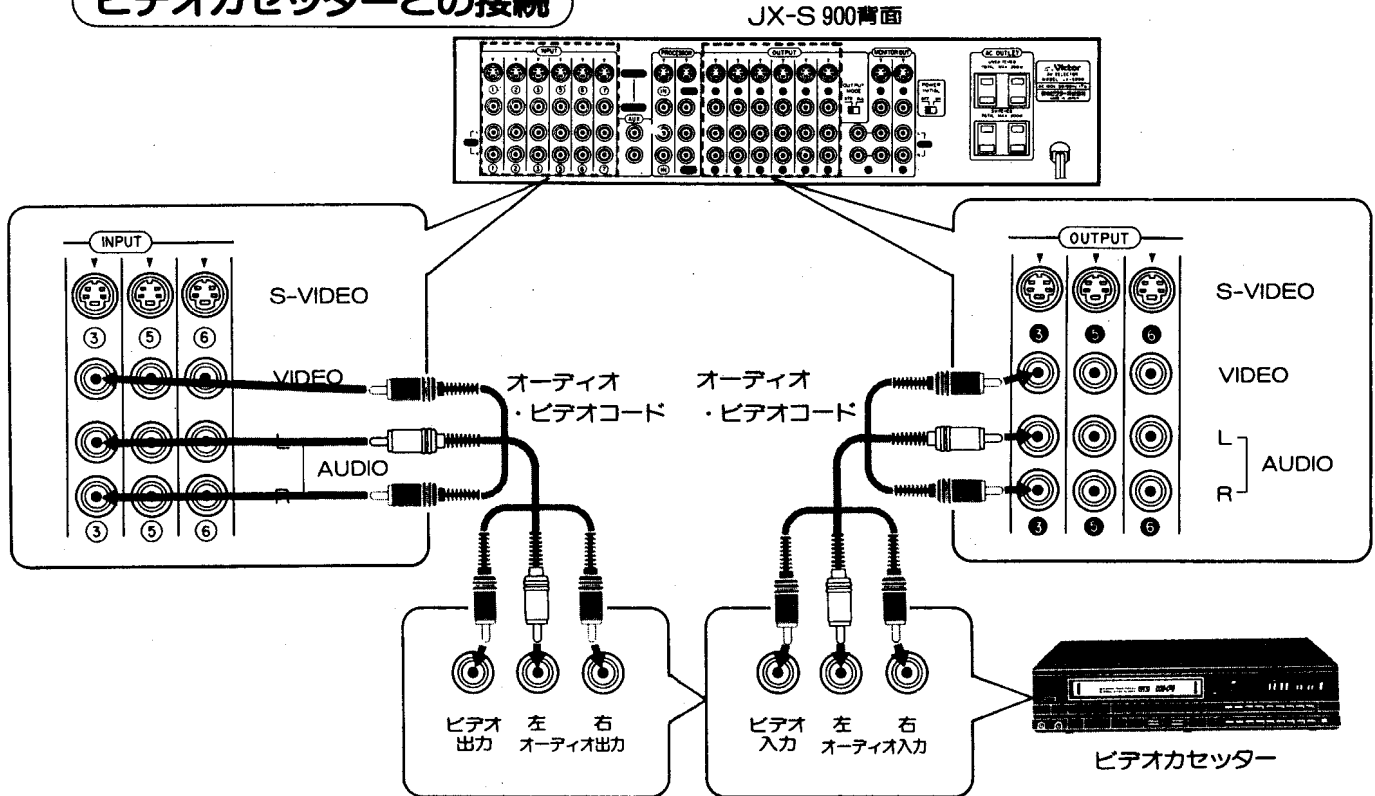
本機とS端子付ビデオカセットとの接続においては、S端子とビデオ端子の両方とも接続してください。一般のビデオカセットとのダビングを行うときなど必要になります。

ただし、使用するS端子付ビデオカセットによっては、S入力端子がビデオ入力端子に“優先”となる場合もありますので、ご使用になるS端子付ビデオカセットの取扱説明書もよくお読みください。

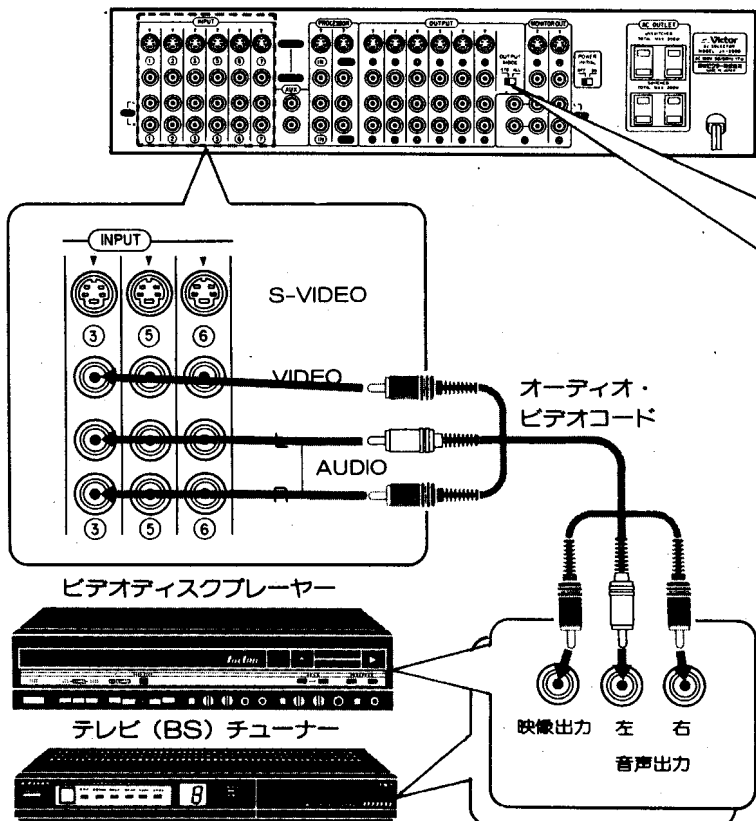
●接続するときは各機器の電源を切ってください。

のつなぎかた

ビデオカセットとの接続



ビデオディスクプレーヤー、テレビ(BS)チューナーとの接続



出力モードスイッチについて

出力モードスイッチが

STDの時：入力選択したチャンネル（番号）の出力端子には信号は出力しません。

ALLの時：ビデオディスクプレーヤー、テレビ（BS）チューナーを入力選択してダビングするとき、入力選択したチャンネル（番号）の出力端子にも信号が出力され、最大7台のビデオカセットへダビングできます。

- 注意**
- 上記のダビングが終わったら必ずスイッチを **STD** に戻してください。
 - 入力にビデオカセットを選択した時はスイッチを **ALL** にしないでください。

接続のしかた

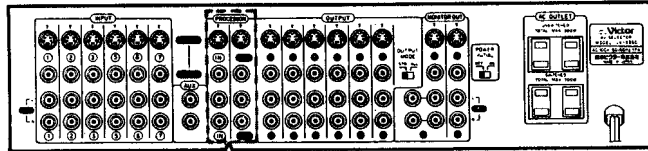
接続は一例を示したものです。接続する機器の説明書もよくお読みください。

プロセッサ入出力端子について ●ビデオコレクターやグラフィックイコライザーなどのつなぎかた

この端子にはビデオコレクター、エンハンサー、ビデオイフェクター、グラフィックイコライザーなどのプロセッサ一機器を接続します。

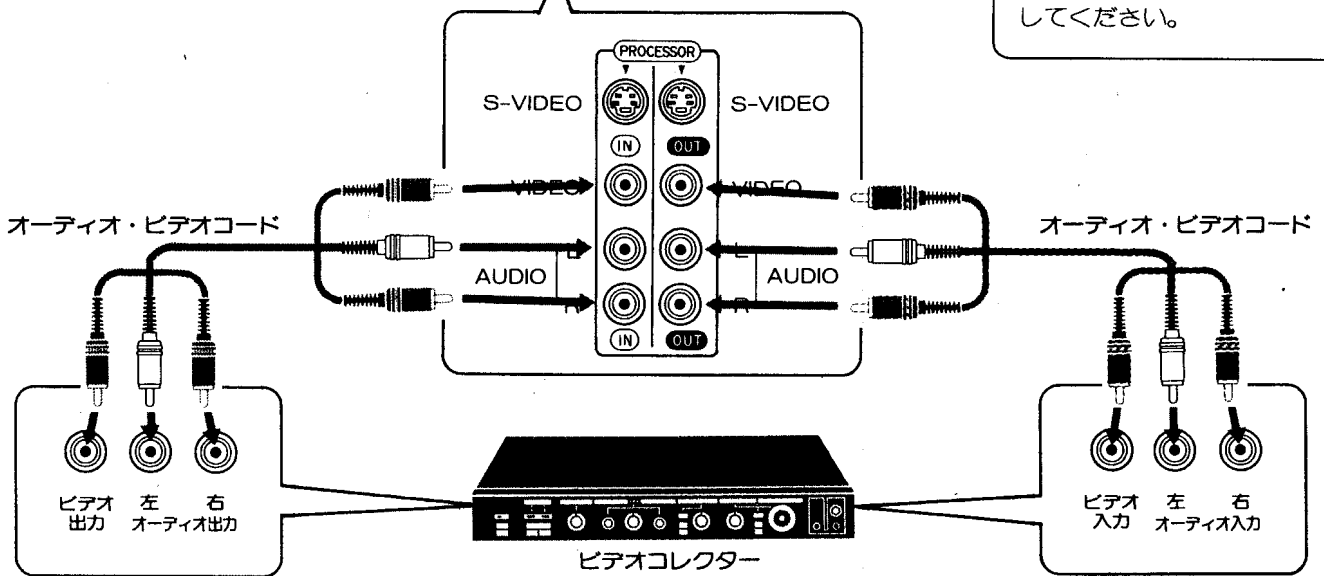
ビデオコレクターとの接続

JX-S 900背面



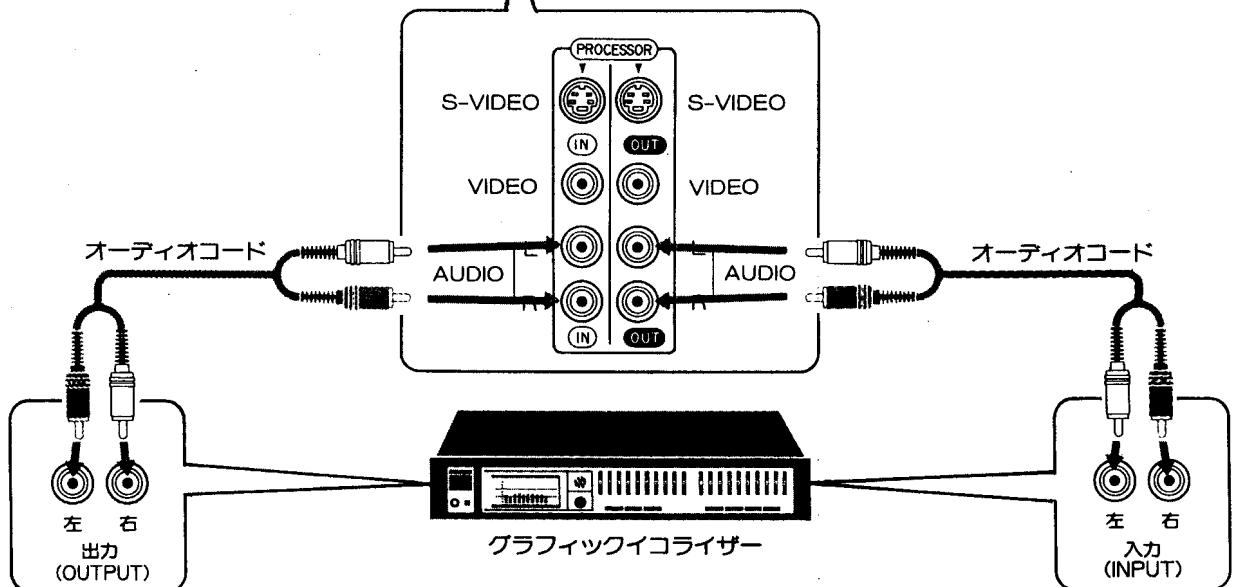
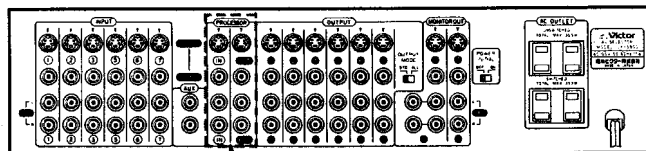
注意

S端子付ビデオプロセッサをご使用の場合は、S入出力端子もそれぞれ接続してください。



グラフィックイコライザーとの接続

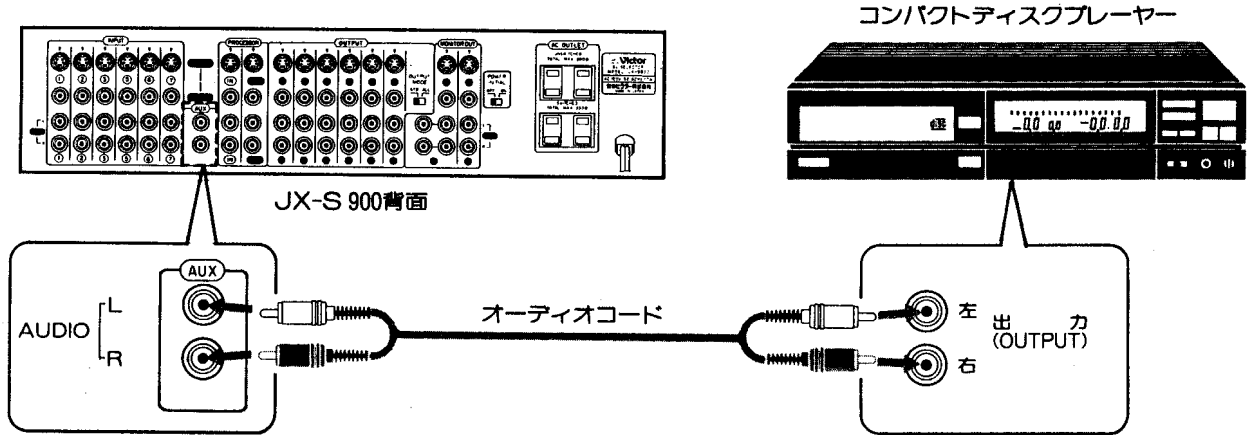
JX-S 900背面



●接続するときは各機器の電源を切ってください。

外部入力端子について ●コンパクトディスクプレーヤー、テープデッキなどのつなぎかた

この端子にはコンパクトディスクプレーヤー、テープデッキなどのオーディオ機器を接続します。



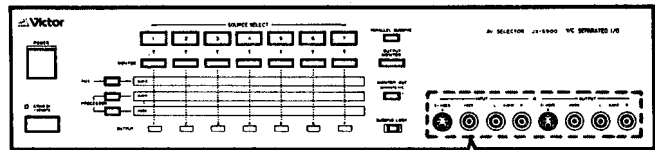
前面入出力端子4について

これは便利

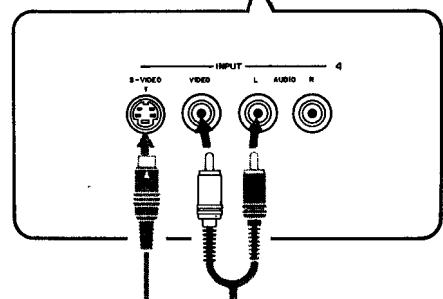
前面音声入力端子4にモノラルのビデオ機器を接続する時、AUDIO L (左) のみに入力して下さい。
各出力端子には、左右ともに同じ音声が分配されます。

ご注意

この機能は、前面音声入力端子4のみです。
他の端子にはこの機能はありません。



JX-S 900前面



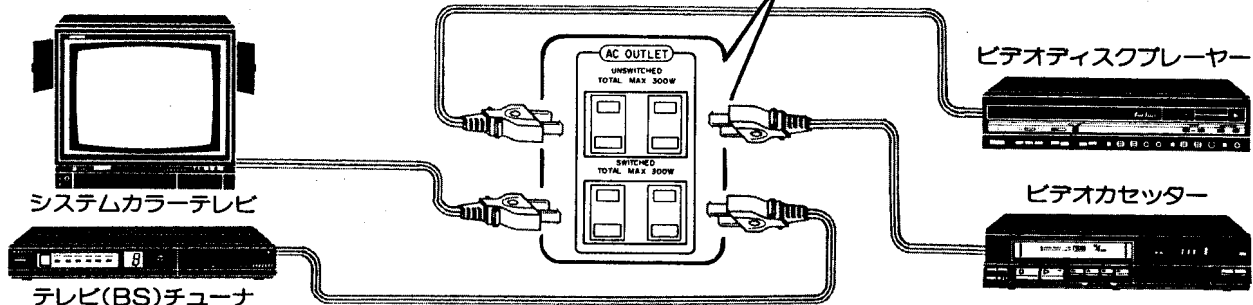
ビデオ機器の出力端子に接続します。

ACコンセントについて

本機は AC コンセントを電源スイッチ連動 2 個、非連動 2 個の合計 4 個装備しています。電源スイッチ連動 2 個合計最大 300 W、非連動 2 個合計最大 300 W までのテレビ、モニター、ビデオ機器が接続できます。

本機の電源スイッチに連動します。
(合計300 W以内)

常時 AC 100 V が流れています。
(合計300 W以内)



システムカラーテレビ

テレビ(BS)チューナー

ビデオディスクプレーヤー

ビデオカセット

使いかた(基本編)

接続は一例を示したものです。接続する機器の説明書もよくお読みください。

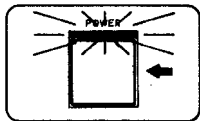
ビデオの見たかた ● 1台のビデオ機器と1台のシステムカラーテレビで、ビデオソフトを視聴するとき

準備 1

“接続のしかた”(5~12ページ)を読みながら下図のように各ビデオ機器とシステムカラーテレビを接続します。

準備 2

電源ボタンを押して、電源を入れる。(電源インジケータ点灯)



準備 3

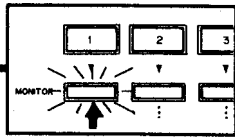
接続した各ビデオ機器の電源を入れる。各ビデオ機器の取扱説明書をお読みください。

注意

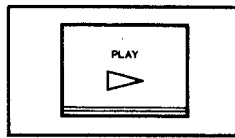
- 同時に2個以上のボタンを押しても、動作しません。
- 次ページのモニター出力についてと入力モニターについてもよくお読みください。

①のビデオディスクプレーヤーを見るとき

1 モニターボタンの1を押して、モニターインジケータの1を点灯させる。

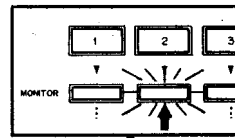


2 ビデオディスクプレーヤーを再生する。

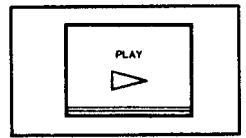


②のビデオカセットーを見るとき

1 モニターボタンの2を押して、モニターインジケータの2を点灯させる。

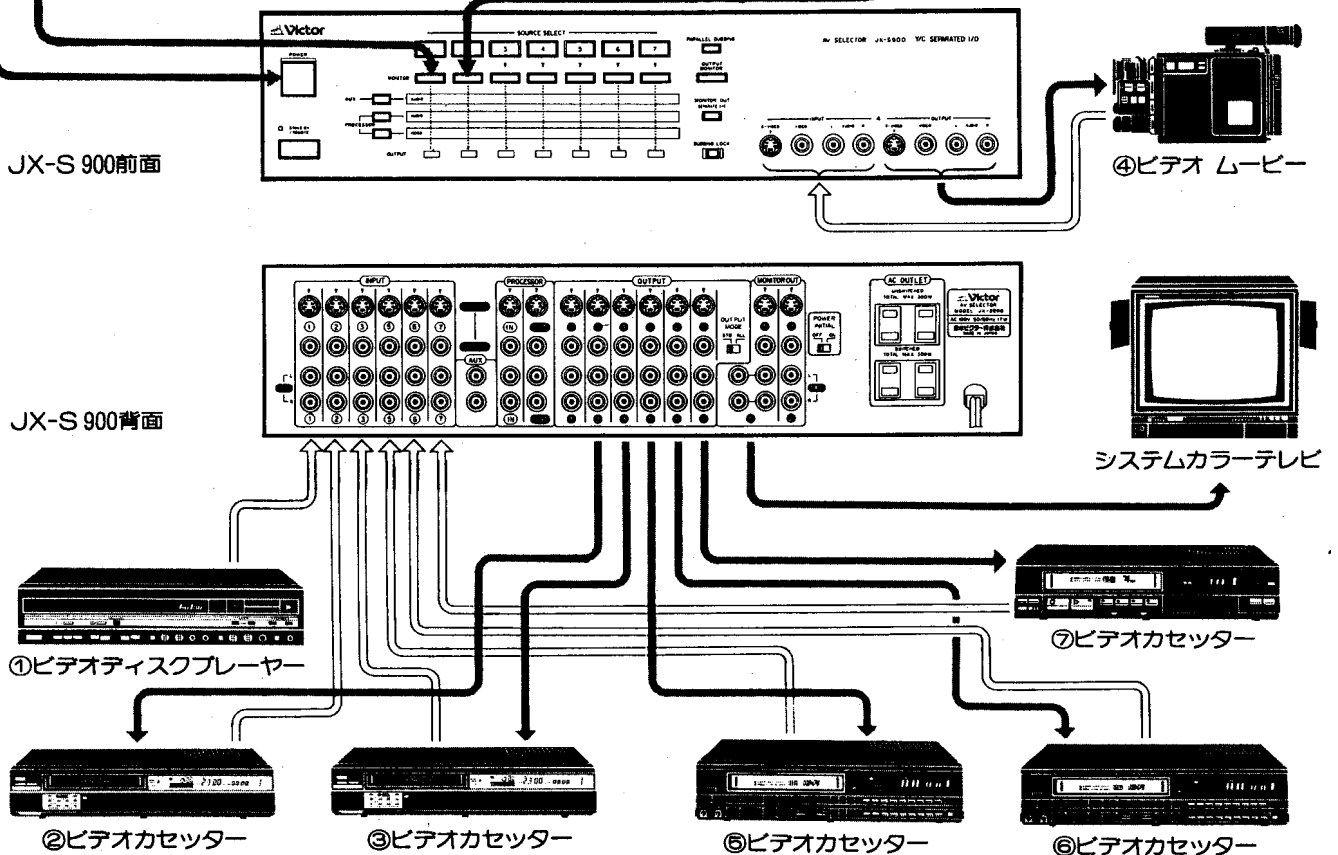


2 ビデオカセットーを再生する。




その他のビデオカセットーやビデオムービーを見るとき

“②のビデオカセットーを見るとき”と同じ手順で、モニターボタンとビデオカセットーの操作をしてください。



使いかた(基本編)

-  マークのあるところは付属のリモコンでも操作することができます。

モニター出力について

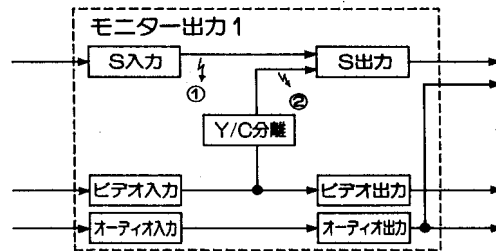
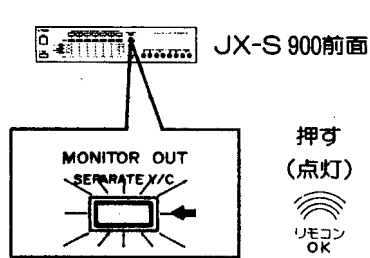
本機にはモニター出力が2系統あり、それぞれの機能は下の表のようになっています。

	Y/C分離回路	オーディオ出力	モニター内容	
			通常時	並行ダビング時
モニター出力1	有	2系統	○チャンネル(番号)①～⑦の 入力モニター ○チャンネル(番号)①～⑦の 出力モニター	○チャンネル(番号)①～⑦の 入力モニター ○チャンネル(番号)①～④の 出力モニター
モニター出力2	無	1系統	○チャンネル(番号)①～⑦の 出力モニター	○チャンネル(番号)⑤～⑦の 出力モニター

モニター出力1について

本機のモニター出力1には、ビデオ入力端子からの信号（コンポジット信号）を、Y/C（輝度信号/色信号）に分離する回路を内蔵していますので、S 入出力端子のないビデオカセットでも、S 端子付カラーテレビのS 入力端子を使って見ることもできます。

又、モニター出力1のオーディオ出力は2系統ありますので、1系統はオーディオモニター専用にもお使いいただけます。（オーディオ出力は常時2系統ともに出力しています。）

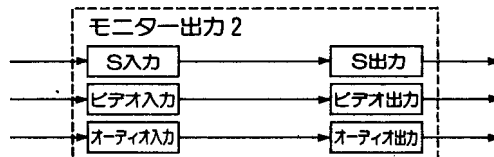


- 例1** S 端子付ビデオカセットを選択した時、信号は①の経路を通り、そのまま S 出力端子に出力されます。また、ビデオ入力端子も接続されていれば、ビデオ出力端子にも同時に出力されています。
- 例2** S 端子のない、一般のビデオカセットを選択した時、本機前面のモニター出力セパレート Y/C ボタンを押します（インジケータ点灯）。そして、本機の Y/C 分離回路により、信号は②の経路を通り S 出力端子にも出力します。なお、ビデオ出力端子には、同時に出力されています。
- 例3** S 端子のないカラーテレビを使用した時、モニター出力端子はビデオ出力端子を使用することになります。

モニター出力2について

注意

- 本機のモニター出力2には、Y/C 分離回路はありません。
- モニター出力2は出力モニターのみ可能で入力モニターはできません。



- 例1** S 端子付ビデオカセットを選択した時は、そのまま S 出力端子に出力されます。また、ビデオ入力端子も接続されていれば、ビデオ出力端子にも同時に出力されています。
- 例2** S 端子のない、一般のビデオカセットを選択した時、モニター出力端子は、ビデオ出力端子を使用します。S 出力端子には、信号は出力されず、モニターすることはできません。
- 例3** S 端子のないカラーテレビを使用した時、モニター出力端子はビデオ出力端子を使用します。

入力モニターについて

本機には入力モニター機能があり、出力されている信号とは別に、各入力端子に接続されたビデオ機器の映像を見ることができます。（モニター出力2は出力モニターのみ可能）

使いかた(基本編)

接続は一例を示したものです。接続する機器の説明書もよくお読みください。

ダビングのしかた ●7台のビデオ機器と1台のシステムカラーテレビでダビングを楽しむとき

準備 1

“ビデオの見かた” (13ページ) と同じように各ビデオを接続して電源を入れてください。

準備 2

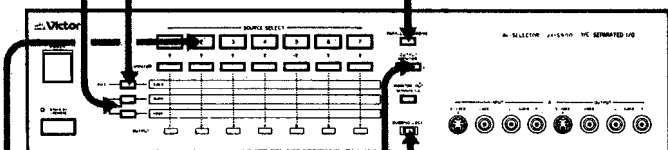
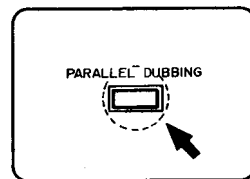
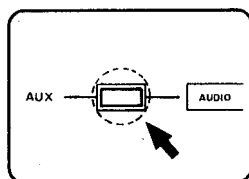
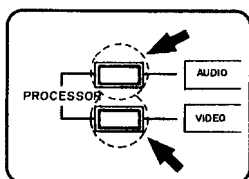
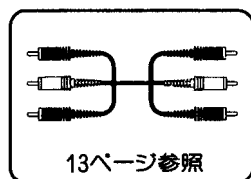
プロセッサーインジケータがビデオ・オーディオともに消えていることを確認する。
(点灯しているときはプロセッサーボタンを押して消してください。)

準備 3

外部入力インジケータが消えていることを確認する。
(点灯しているときは外部入力ボタンを押して消してください。)

準備 4

並行ダビングインジケータが消えていることを確認する。
(点灯しているときは並行ダビングボタンを押して消してください。)



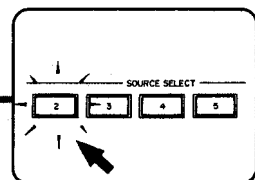
ダビングロックボタンについて

ダビングロックボタンを押して、ダビングロックインジケータを点灯させます。この状態では、電源ボタン、モニターボタン、出力モニターボタン、モニター出力セレクト Y/C ボタン以外のボタンは操作できなくなり、ダビング中に誤ってボタンを操作してもダビングモードは変わりません。

②のビデオカセットから③～⑦のビデオカセットにダビングする

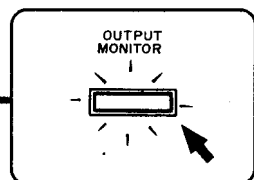
1

ソース切換ボタンの2を押して、入力インジケータの2を点灯させる。



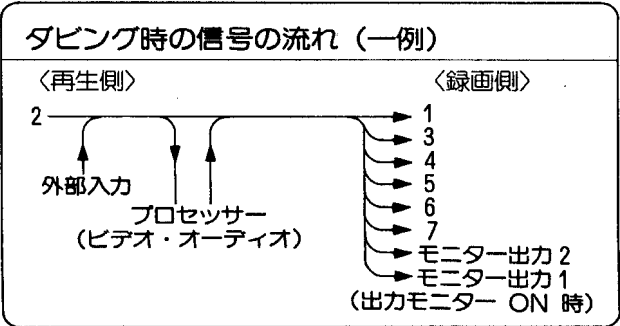
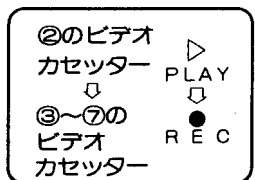
2

出力モニターボタンを押して、出力モニターインジケータを点灯させる。



3


②のビデオカセットを再生し、③～⑦のビデオカセットで録画する。



- 注意**
- Y/C 分離回路は、モニター出力 1 のみに働きます。その他の出力端子には働きません。
 - 左の使用例の場合は、出力モードスイッチは [STD] に合わせて下さい。
○10ページの“出力モードスイッチについて”を参照してください。
 - モニター出力については14ページの“モニター出力について”を参照してください。

使いかた(基本編)

●テレビ放送やレコード・録画（録音）物などから、録画（録音）したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

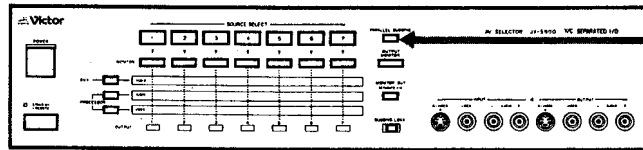
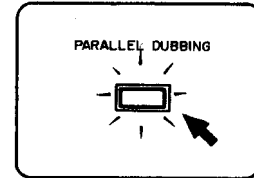
●  マークのあるところは付属のリモコンでも操作することができます。

並行ダビングのしかた

本機はチャンネル（番号）①～④内での相互ダビング（任意選択可能）とチャンネル（番号）⑤～⑦内での相互ダビング（任意選択可能）を同時に行うことができ、2種類のソースを同時にダビングすることができます。

準備 1 “ダビングのしかた”（15ページ）の**準備 1**から**準備 3**まで行なう。

準備 2 並行ダビングボタンを押して、並行ダビングインジケータを点灯させる。



④のビデオムービーから②③のビデオカセットへのダビングと⑦のビデオカセットから⑤⑥のビデオカセットへのダビングを同時に行なう

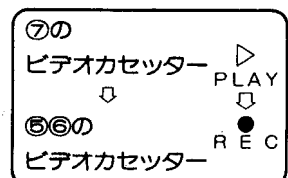
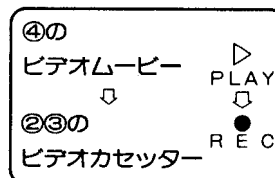
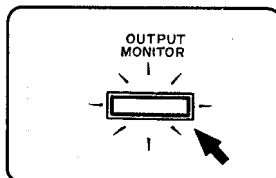
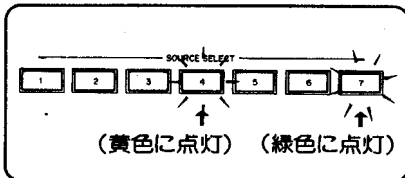
1 ソース切換ボタンの4を押して入力インジケータの4を点灯させる。（インジケータは黄色に点灯）

2 ソース切換ボタンの7を押して入力インジケータの7を点灯させる。（インジケータは緑色に点灯）

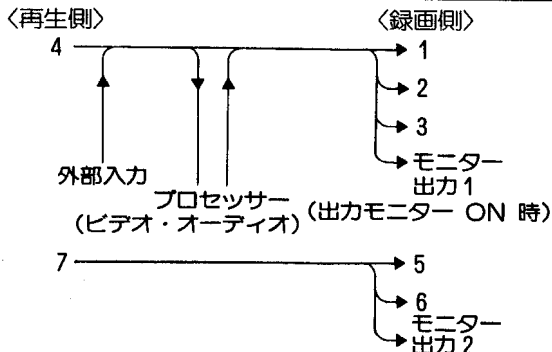
3 モニターボタンや出力モニターボタンを押してそれらのインジケータを点灯させる。

4 ④のビデオムービーを再生し、②③のビデオカセットで録画する。

5 ⑦のビデオカセットを再生し、⑤⑥のビデオカセットで録画する。



並行ダビング時の信号の流れ（一例）



注意

- Y/C 分離回路は、モニター出力1のみに働きます。その他の出力端子には働きません。
- 左の使用例の場合は、出力モードスイッチは[STD]にしてください。◀10ページの“出力モードスイッチについて”を参照してください。
- 左の使用例の場合は、モニター出力1には出力4の信号が出力されモニター出力2には出力7の信号が出力されます。
- モニター出力については、14ページの“モニター出力について”を参照してください。
- 外部入力、プロセッサ（ビデオ・オーディオ）はチャンネル（番号）①～④内での相互ダビングの間のみ働きます。

大切な録画のときはあらかじめテスト録画をしましょう。

使いかた(応用編)

接続は一例を示したものです。接続する機器の説明書もよくお読みください。

プロセッサ機器を使ったダビングのしかた(1)

ビデオコレクター、エンハンサー、ビデオイフェクターなどのプロセッサ機器を使ってダビングします。

ビデオコレクターを使ったダビング

準備

“プロセッサ入出力端子について” (11ページ) を読んで、ビデオコレクターを接続し電源を入れる。

1 プロセッサボタン (ビデオ) を押し、プロセッサインジケータ (ビデオ) を点灯させる。



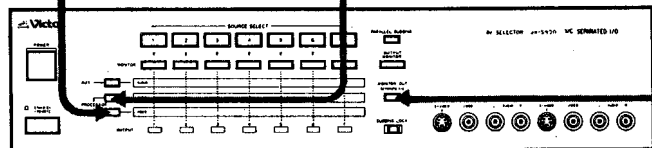
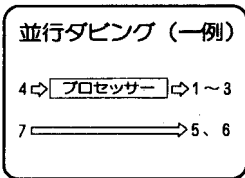
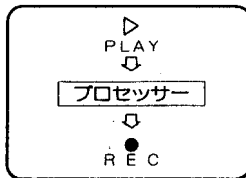
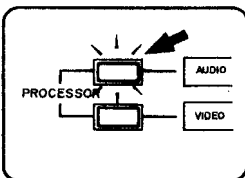
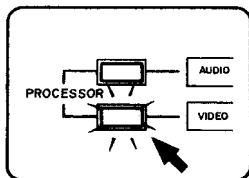
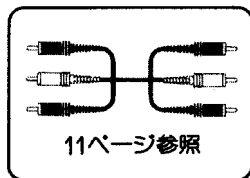
2 必要に応じて、プロセッサボタン (オーディオ) を押し、プロセッサインジケータ (オーディオ) を点灯させる。



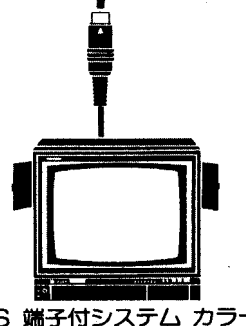
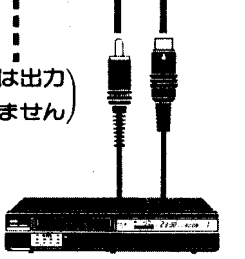
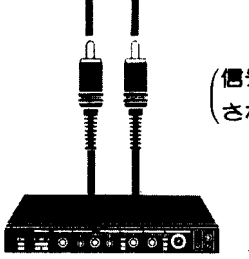
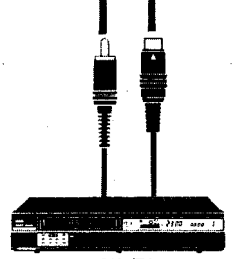
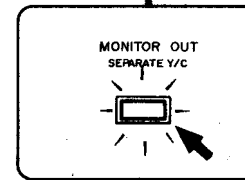
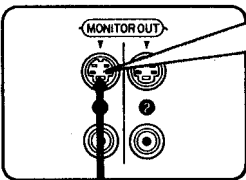
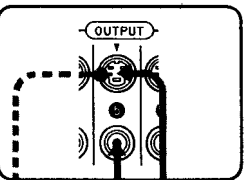
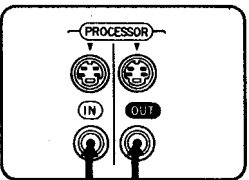
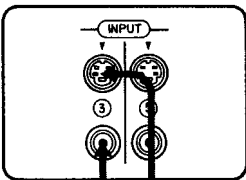
3 ビデオコレクターを操作しながら再生ビデオカセットと録画ビデオカセットでダビングする。

注意

並行ダビングをするときは、チャンネル(番号)①から④の間の相互ダビングのシステムのみプロセッサ機能が働きます。



S端子付ビデオカセットとS端子がないビデオプロセッサとの組合せの例



(信号は出力されません)

リモコン OK
●このモニター出力セパレート Y/C ボタンを押す (インジケータ点灯) ことにより、S モニター出力することができます。

注意

- 上の図のように S 端子付ビデオカセットを使用してダビングするとき、使用するプロセッサ機器に S 入出力端子がない場合は、ビデオ信号 (コンポジット信号) でのダビングとなります。
- またこの場合でも、モニター出力セパレート Y/C ボタンを押す (インジケータ点灯) ことにより S 端子出力による出力モニターが可能となります (モニター出力1のみ)。
- モニター出力については、14ページの “モニター出力について” もよくお読みください。

- テレビ放送やレコード・録画（録音）物などから、録画（録音）したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

-  マークのあるところは付属のリモコンでも操作することができます。

プロセッサー機器を使ったダビングのしかた(2)

グラフィックイコライザーなどのプロセッサー機器を使って、オーディオ信号（音声）を可変してダビングする。

グラフィックイコライザーを使ったダビング

準備

“プロセッサー入出力端子について”（11ページ）を読んで、グラフィックイコライザーを接続し電源を入れる。

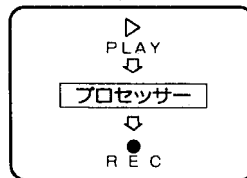
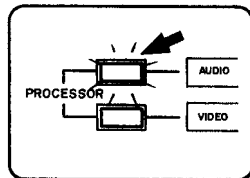
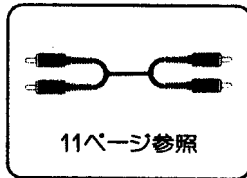
1 プロセッサーボタン（オーディオ）を押して、プロセッサーインジケーター（オーディオ）を点灯させる。



2 グラフィックイコライザーを操作しながら、再生ビデオカセットと録画ビデオカセットでダビングする。

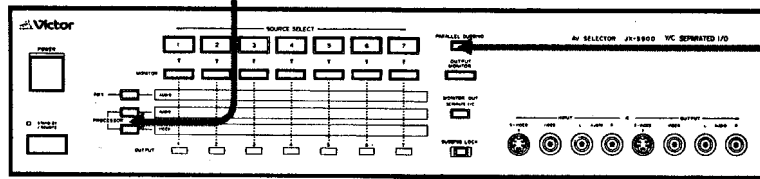
注意

並行ダビングするときは、チャンネル（番号）①から④の間の相互ダビングの系統のみにプロセッサー機器が働きます。



並行ダビング（一例）

4 ⇄ プロセッサー ⇄ 1~3
7 → 5、6



外部入力を使ったダビングのしかた

ビデオカセットなどの音声を、コンパクトディスクプレーヤー、カセットテープデッキなどオーディオ機器からの音声に入れ換えてダビングします。

準備

“外部入力端子について”（12ページ）を読んで、オーディオ機器を接続し、電源を入れる。

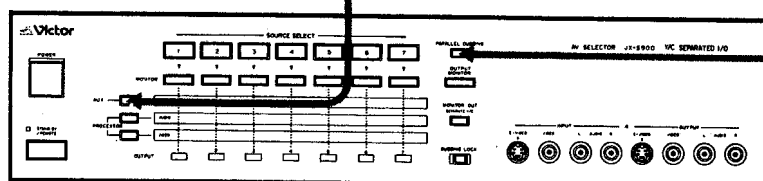
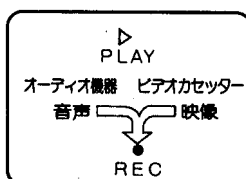
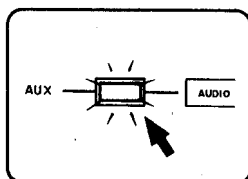
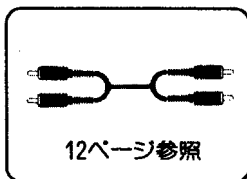
1 オーディオ外部入力ボタンを押して、オーディオ外部入力インジケーターを点灯させる。



2 オーディオ機器を再生しながら再生ビデオカセットと録画ビデオカセットでダビングする。

注意

- 並行ダビングするときは、チャンネル（番号）①から④の間の相互ダビングの系統にのみ外部入力を入れることができます。
- 外部入力を入れているときは、再生ビデオカセットの音声は入りません。



並行ダビング（一例）

外部入力
1 → X → 2~4
5 → 6、7

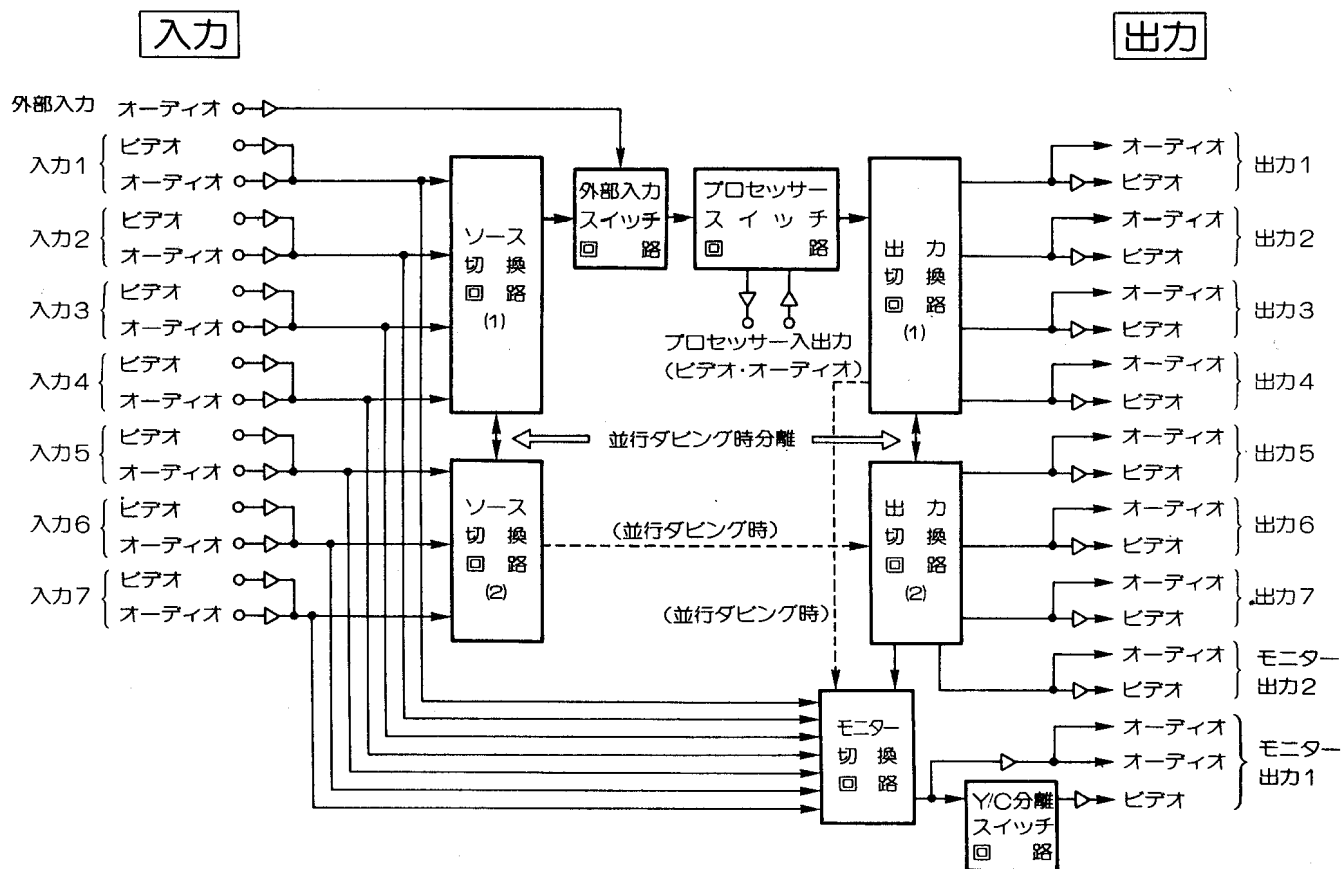
外部入力
ビデオカセット
音声 → X → 出力

故障かな？

「おかしいな」と思ったら、修理に出す前に次の点を確認してください。

症状	原因	処置	頁	
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ○電源コードがコンセントから抜けていませんか。 ○パワースイッチが OFF になっていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○電源コードをコンセントにしっかりと差し込んでください。 ○パワースイッチを押して ON にしてください。 		
見たい映像が見られない。	<ul style="list-style-type: none"> ○ビデオ機器が入出力端子に正しく接続され、ソース切換が正しく選ばれていますか。 ○モニター出力端子にモニターテレビが正しく接続され、モニターボタンが正しく選ばれていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○もう一度確認して正しく接続し、ソース切換を選んでください。 	5~6 9~10	
		<ul style="list-style-type: none"> ○もう一度確認して正しく接続し、モニターボタンを選んでください。 	7~8	
ダビングできない	<ul style="list-style-type: none"> ○再生用または録画用ビデオ機器は入出力端子に正しく接続され、ソース切換が正しく選ばれていますか。 ○ビデオプロセッサーを接続していないのにプロセッサーのビデオのインジケータが点灯していませんか。 ○録画側ビデオカセットの入力切換スイッチが「外部」になっていますか。 ○録画側の S 端子付ビデオカセットにおいて、映像の切換スイッチの「S 信号入力」、ビデオ信号入力 が正しく合っていますか。 ○本機と S 端子付ビデオカセットを S 端子とビデオ端子の両方で接続していますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○もう一度確認して正しく接続して、ソース切換を選んでください。 ○プロセッサーのビデオボタンを押して、そのインジケータを消灯してください。 ○録画側ビデオカセットの入力切換スイッチを「外部」にしてください。 ○録画側ビデオカセットの映像の切換スイッチを正しく合わせてください。 ○本機と S 端子付ビデオカセットの接続においては、S 端子とビデオ端子の両方とも接続してください。 	9~12 15 15 9	
		<ul style="list-style-type: none"> ○オーディオプロセッサーを接続していないのにプロセッサーのオーディオのインジケータが点灯していませんか。 ○オーディオ外部入力を接続していないのにオーディオ外部入力インジケータが点灯していませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○プロセッサーのオーディオボタンを押して、そのインジケータを消灯してください。 ○オーディオ外部入力ボタンを押してそのインジケータを消灯してください。 	15 12
		<ul style="list-style-type: none"> ○ビデオ機器が入出力端子に正しく接続されていますか。 ○ことなった系統間で並行ダビングをしていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○もう一度確認して正しく接続してください。 ○並行ダビングのときは、チャンネル(番号)①~④と⑤~⑦は別系統です。この系統間でのダビングはできません。 	9~10 15~16
並行ダビングする時、プロセッサーが使えない。	<ul style="list-style-type: none"> ○チャンネル(番号)⑥⑦間の相互ダビングを行っていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○並行ダビングの時のプロセッサーはチャンネル(番号)①~④間の相互ダビングで使ってください。 	17~18	
リモコン操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ○リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ○リモコンの乾電池を極性をまちがえて入れていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○リモコンの乾電池を2本とも新しい乾電池に取り替えてください。 ○正しく入れなおしてください。 	1、4	

ブロックダイアグラム



別売接続コードについて

接続	型状	型名 / 備考	接続	型状	型名 / 備考
ステレオビデオカセット システムカラーテレビ	オーディオ・ビデオコード 	VX-405 (0.5m 金メッキ端子) VX-17 (1m) VX-410 (1m 金メッキ端子) VX-18 (2m) VX-420 (2m 金メッキ端子)	モノラルビデオカセット	オーディオ・ビデオコード 	VX-205 (0.5m 金メッキ端子) VX-13 (1m) VX-210 (1m 金メッキ端子) VX-14 (2m) VX-220 (2m 金メッキ端子)
S端子付きビデオカセット S端子付きシステムカラー テレビ	Sプラグビデオコード 	VC-S105 (0.5m) VC-S110 (1m) VC-S120 (2m) VC-S130 (3m) VC-S150 (5m)	モノラル機器とステレオ 機器との組合せ	オーディオ・ビデオコード 	VX-305 (0.5m 金メッキ端子) VX-15 (1m) VX-310 (1m 金メッキ端子) VX-16 (2m) VX-320 (2m 金メッキ端子)
	ビデオコード 	VX-105 (0.5m 金メッキ端子) VX-705 (0.5m 金メッキ端子) VX-10 (1m) VX-110 (1m 金メッキ端子) VX-710 (1m 金メッキ端子) VX-12 (2m) VX-120 (2m 金メッキ端子) VX-720 (2m 金メッキ端子) VX-130 (3m 金メッキ端子) VX-150 (5m 金メッキ端子)		ビデオコード 	VX-11 (1.5m)
	オーディオコード 	CN-805 (0.5m 金メッキ端子) CN-810 (1m 金メッキ端子) CN-820 (2m 金メッキ端子) CN-830 (3m 金メッキ端子) CN-850 (5m 金メッキ端子)		オーディオコード 	CN-188A (1.5m) CN-180A (3m)
			ビデオカセット カラーテレビ	アンテナ用ビデオコード 	VX-22A (1m) VX-23A (2m) VX-20A (1m) VX-21A (2m)

仕様

- 商品名: AV セレクター
- 入出力端子: 入出力7系統
 - (録音機(ステレオ端子対応)) モニター出力2系統
 - プロセッサー入出力1系統
 - 外部入力(音声のみ)1系統
- 映像入力: 基準入力1.0Vp-p (75Ω不平衡)
最大2.0Vp-p
- 映像出力: 1.0Vp-p (基準入力時、75Ω不平衡)
- 映像クロストーク: 50dB以上 (3.58MHz)
- 映像S/N比: 50dB以上
- 映像周波数帯域: 10MHz±2dB (0.5MHz=0dB)
- 音声入力: 基準入力-10dBV (47KΩ)
最大+6dB (1%歪、1kHz)
- 音声出力: -10dBV (基準入力時、1KΩ)
- 音声クロストーク: 80dB以上 (1kHz)
- 音声S/N比: 80dB以上
- 音声周波数特性: 5Hz~100kHz (±2dB)
- 歪率: 0.01% (基準入力時、1kHz)
- 電源: AC100V 50/60Hz
- ACアウトレット: スイッチ非連動2個 (2個合計最大300W)
スイッチ連動2個 (2個合計最大300W)
- 消費電力: 電源ON時 17W
電源OFF時 2W
- 外形寸法: 横幅43.5cm/高さ10.4cm/奥行26.9cm (スイッチノブ、リアピンジャック、脚部含む)
- 重量: 本体 4.8kg
リモコン送信機 101g (乾電池含む)
- 付属品: リモコン送信機 (RM-A900) 1個
単3乾電池 (SUM-3) 2個

※本機の仕様および外観は改善のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証とアフターサービス

●保証書は必ずお受け取りください

この商品には、保証書を別途添付しております。保証書はお買上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

●保証期間について

保証期間はお買上げの日より1年間です。保証書の記載内容により、お買上げの販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

●補修用性能部品の保有期間について

当社は、このAVセレクターの補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理を依頼されるときは

「故障かな?…」の各項目をよくお読みのうえ、再度お調べください。それでも具合の悪い時は、差込みプラグをコンセントから抜いてお買上げの販売店に次のことをお知らせください。

●ビクターAVセレクター JX-S900

●お名前とおところ

●電話番号

●故障症状 (詳しく)

●アフターサービスについてご不明な点は

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧ください。最寄りのサービス窓口にご相談ください。



所在地 〒242 神奈川県大和市下鶴間1644番地 電話 (0462) 74-2121(代表)
お問合せ先 ビクターインフォメーションセンター 電話 (03) 580-2861
〒100 東京都千代田区霞が関3丁目2番4号 (霞山ビル)